

## 大学教育へ戦略提言 40周年記念シンポと講演会 経営学部



経営学部40周年記念・地域と大学を結ぶセミナー「21世紀のビジネスリーダー:経営学部に求められる教育」が6月15日生田キャンパスで開催された。各界で活躍中の経営学部卒業生によるシンポジウムと講演会が行われ、学生、卒業生、市民ら308人が参加、盛況だった。

加藤茂夫学部長のあいさつに続き、竹村憲郎教授が「経営学部教育の変遷」をテーマに基調講演を行い、シンポジウムが展開された。奥村経世助教授をコーディネーターに、パネラーは竹村教授と秋山純一(昭41・多摩大学大学院教授)、湯浅肇(昭57・日立製作所勤務)、内原康雄(昭63・エヌシーネットワーク代表取締役社長)の3氏。学生時代に学んだこと、それが社会でどのように役立ったかなどの体験談が披露され、特長ある経営学部として今後の大学教育に必要な“戦略”が提言された。

引き続き島田精一・日本ユニシス株式会社代表取締役による特別講演「ビジネスリーダーに求められるIT戦略」が行われ、田口冬樹同学部40周年記念事業実行委員長が謝辞を述べて終了。

祝賀会では出牛正芳学長、松浦洋治専務理事のあいさつに続き山田雄一明治大学学長が祝辞を述べ、参加者は和やかに歓談。櫻井通晴経営学研究科長の閉会の辞で終えた。

[7月15日/ニュース専修2面]

## 地域NPOで活躍する4女性をパネリストに 商学研究所主催公開シンポジウム



公開シンポジウム「NPOで活躍する女性たち—地域を支える非営利活動—」(商学研究所主催)が7月5日、川崎市の多摩市民館で開催された。利潤ではなく社会的理念を追求する非営利組織(NPO)で活躍する女性4人が、それぞれの体験を通じての現状と問題点、今後の展望を討論した。会場は学生、市民ら200人を超える聴衆で埋まり、立ち見も出る盛況だった。

パネラーは、NPOを研究・支援する立場から田中弥生・国際協力銀行プロジェクト開発部参事役、地域NPO法人から角麻里子(「国分寺冒険遊びの会」代表)、土屋真美子(「よこはま里山研究所」理事)、原美紀(「びーのびーの」副代表)の4氏。「組織には若い血も必要だが、社会経験を積み、自己が確立されていないとなかなかできない仕事」(土屋氏)、「目的意識を明確にして取り組むことが大切」(角氏)といったメッセージを会場に贈り、質問や意見も活発だった。

[7月15日/ニュース専修2面]